



TODAY'S RACE Rd.4  
**FUJI SPEEDWAY**  
7.20 SAT/21 SUN

INTERVIEW

**Sena SAKAGUCHI #38**

38号車ドライバー 阪口 晴甫

**グリップを  
感じない**

RACE ARCHIVE

Rd.3 Sportsland SUGO

**#4 rain or shine**



**INGING**  
MOTORSPORT®

SUPER FORMULA 2024 VERTEX PARTNERS CERUMO • INGING RACE REPORT

[www.inging.co.jp](http://www.inging.co.jp)





# news paper#4

VERTEX PARTNERS  
CERUMO・INGING  
RACE REPORT

## 2024

www.inging.co.jp

### RACE ARCHIVE Rd.3 Sportsland SUGO

スポーツランドSUGO 決勝 6月23日(日) 6月22日(土)に行われた公式予選では、開幕

2戦で苦しんだ大湯都史樹が復興をみせ5番手を獲得。一方、阪口晴南もコースオフがありながら、速さをみせ12番手とスピードの面で上り調子にあることを感じさせたVERTEX PARTNERS CERUMO・INGING。ただ、迎えた6月23日(日)の決勝日は、事前の天気予報から梅雨前線の影響でウェットコンディションになることが予想された。今シーズンまだウェットでのレースはなく、SUGOは波乱も多いコース。路面状況と展開をしっかりと読み上位進出を目指すべく、チームは決勝日に向けてしっかりと準備を進めた。

#### 思わぬ雲行きで赤旗中断に

迎えた6月23日(日)の決勝日。この日東北地方は梅雨入りしており、スポーツランド SUGO は朝からシトシと細かい雨が降っていた。午前 9 時から行われていたスーパーフォーミュラ・ライツの第 8 戦の決勝レースの間はかうじて走れるコンディションだったものの、午前9時55分から行われたスーパーフォーミュラのフリー走行は、やや雨脚が強まっており、大パワーをもつ SF23 での走行はやや危険にも感じられた。コースオープン後、阪口晴南、大湯都史樹の2台はコースインしてからすぐにピットに戻り、再コースイン後1周をこなすものの、水量が多くアクアブレーキングがひどい。ライバルたちも状況は同様で、開始から4分過ぎ、予選 2 番手だった #15 岩佐歩夢がメインストレートで水膜に乗りスピンを喫し、コンクリートウォールにヒットしてしまう。セッションは赤旗中断となったが、その後も雨はしばらく降り続き、午前 10 時 24 分には再開しないまま終了というアナウンスがされた。開始からわずか5分でフリー走行は終了となったが、阪口、大湯ともに記録していたのは2分台のラップタイム。11 台がノータイムで、決勝レースを前にウェットでのセットアップの確認がまったくできていない状況だった。大会審査委員会はレーススタート前のウォームアップ走行の時間を8分から 20 分に拡大。ここで最終的な確認を行うことになった。

#### 悪走の中、スタート直後のクラッシュ

フリー走行の後雨が降り続いたスポーツランド SUGO。ピットウォークの後に行われたスーパーフォーミュ

ラ・ライツ第9戦では濃霧も立ちこめ、セーフティカーランのまま終了になるなど、コンディションは悪いままだった。そんななか、スーパーフォーミュラ第3戦の決勝を前に20分間のウォームアップ走行が午後1時30分から予定されていた。ただ、霧の影響でセッションは5分ディレイ。

午後1時35分に走行がスタートした。しかし直後、最終コーナーで #64 山本尚貴が激しくクラッシュしてしまう。その車両回収、さらにクラッシュの影響で破損したガードレールの補修のため決勝レースは大きく遅れ、午後3時からレコナサン斯拉ップが行われた後、午後3時35分からフォーメーションラップがスタートした。霧は晴れたものの、やはり細かい雨粒が舞い続けており、スーパーフォーミュラでレースをするにはギリギリのコンディション。決勝はセーフティカースタートとなり、5周を周回した後、6周目にレースが始まった。5番手からスタートした大湯は、水煙のなかポジションを守りレースを進めていく。一方、阪口はスタート直後の1コーナーで、#65 佐藤連と #7

#### 再びスタートするもふたたびセーフティカーに

小林可夢偉に挟まれるようなかたちになってしまい、わずかに失速。2ポジション下げてしまう。ただ直後、ふたたびセーフティカーが導入された。これはスタート直前に8番手スタートだった #14 大嶋和也が最終コーナーでクラッシュしてしまったため。この車両回収のため 12 周までセーフティカーランとなり、13 周目、ふたたびレースがスタートした。

#### 悪夢のような光景が

しかし、VERTEX PARTNERS CERUMO・INGING のチーム全員にとって悪夢のような光景がモニターに映し出された。13 番手からひとつポジションを上げていた阪口が 14 周目、最終コーナーでクラッシュしていたのだ。阪口はタイヤバリアがないところでクラッシュしており、ヘッドレストに頭部を打ち付けていたことから、ドクターカーの到着を待って車両から降りたが、クルマはフロアにまでダメージが及ぶ大きなダメージを受けてしまった。

#### 数々の赤旗中断でレースは終了に

この阪口のクラッシュを受け、レースは即座に赤旗中断となった。ウォームアップを含めれば3台が最終コーナーでクラッシュする状況のなか、レースは午後4時30分を前に、終了が宣言された。幸い阪口は自力でクルマから下りることができ、歩いてピットに戻ってきた。赤旗中断前の 12 周時点の順位がリザルトになったことから、大湯が5位、阪口は 12 位という決勝結果となった。阪口が無事であったこと、そして大湯が今シーズン初ポイントを獲得したことは不幸中の幸いだった。VERTEX PARTNERS CERUMO・INGING は車両を修復し、次戦富士、そしてその前に行われる合同テストで復活を目指す。

|         |        |    |     |    |     |
|---------|--------|----|-----|----|-----|
| Results | 38     | 予選 | 12位 | 決勝 | 12位 |
|         | 阪口 晴南  |    |     |    |     |
|         | 39     | 予選 | 5位  | 決勝 | 5位  |
|         | 大湯 都史樹 |    |     |    |     |

Take Free Paper. VERTEX PARTNERS CERUMO・INGING RACE REPORT Season 2024.

## 38 INTERVIEW #4

Sena SAKAGUCHI #38

### グリップを身 感じない

38号車ドライバー 阪口 晴南 ラッシュをしてしまったので皆さんにはご心配をおかけしてしまいました。フリー走行のフィーリングが良かったので自信をもっていたのですが、レコナサン斯拉ップのときにグリップがないことを感じ、レースがスタートしてからもやはりグリップしづらかったですね。レースが落ち着いてからはベースを上げられそうな雰囲気もあったのですが、その前にクラッシュで決勝を終えることになってしまいました。クルマも大きくダメージを受けてしまいましたが、合同テストもあるので、そこまでにクルマをしっかりと直して、次に向けて切り替えて頑張りたいと思っています。

## 表彰台を狙える 雰囲気はあった

#39 Toshiki OYU

結果としては5位でした。表彰台を狙える雰囲気はありましたし、もう少しやれる手ごたえがあった中だったので、もっと自分をレースで出したかったです。でもこれもまたレースですからね。安全が第一なので仕方ないです。皆さんの前で自分らしいレースをすることができなかったのは残念ではありますが、今回の SUGO では復興のきざしをみせられたと思っています。次戦の富士スピードウェイでのレースまでに合同テストも開催されますし、また雨のレースもあり得と思っています。次戦までに足りない部分や反省などをしっかりと行い、ひとつずつステップアップして、次こそ優勝やポールポジションなど結果を残せるようにしたいと思っています。

## あまりにクラッシュも多く危険な状況

チーム監督 立川 祐路

Yuji TACHIKAWA

雨がそれほど多いわけではありませんでしたが、グリップ、また視界が悪く、きちんとレースができます。応援しに来てくださった皆さんには申し訳ないと思っています。あまりにクラッシュも多く危険な状況だったので、赤旗は仕方がないと思っています。そのうちの1台は阪口選手でしたが、無事でいてくれたことは不幸中の幸いでした。また、実質レースらしいレースはできていませんが、大湯選手がハーポイントとはいえ得点することができたのも良かったことです。勝てるパフォーマンスがあることが確認できましたからね。次戦の富士までに合同テストもありますし、しっかりとクルマを直して臨みたいと思います。応援ありがとうございます。

## rain or shine

FUJI SPEEDWAY

TODAY'S RACE Rd.4 7.20 SAT/21 SUN